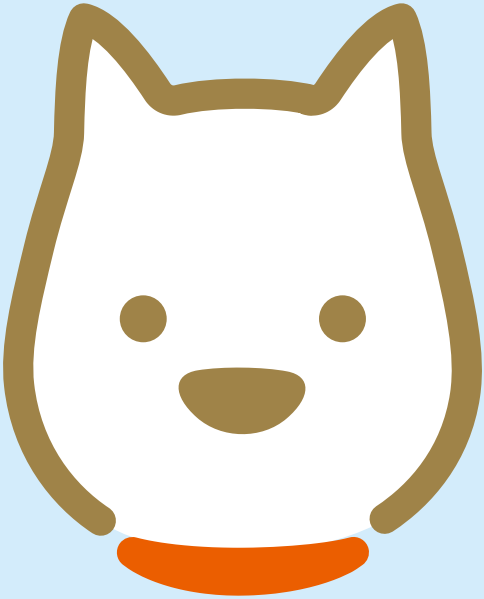
犬アトピー性皮膚炎と診断された
犬の飼い主さまへ。

zoetis®

犬アトピー性皮膚炎の新たな治療薬



1回の注射で1ヵ月間の効果

痒(かゆ)みが管理された快適な日々を

この冊子は、サイトポイント®を処方された犬の飼い主さまのためのご案内です。

犬アトピー性皮膚炎って？

原因は？

犬アトピー性皮膚炎の原因は複合的です。
以下のような原因がいくつか重なって発症すると考えられています。

アレルギー体質である

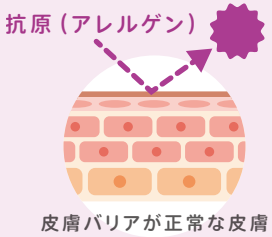
抗原に
反応しやすい体質

ノミ唾液に反応するのは
ノミアレルギー

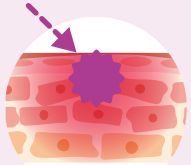
食物に反応するのは
食物アレルギー

皮膚バリア機能が低下している

抗原の分子が
侵入しやすくなる



皮膚バリアが正常な皮膚



皮膚バリア機能が低下した皮膚

抗原が存在している

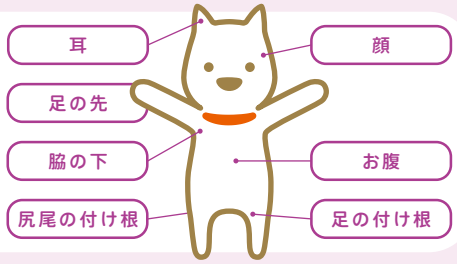
花粉、
室内ダニなど

どんな病気？

犬アトピー性皮膚炎は、室内棲息ダニや花粉などの環境中の
抗原（アレルゲン）に対する過剰な免疫反応によっておこります。

- 遺伝が関与するため、発症しやすい犬種がいます。
日本では、柴犬、フレンチブルドッグ、シーズー、
ウェストハイランドホワイトテリアなどが好発犬種として知られています。

- 症状はかゆみから始まり、
後に皮膚炎が現れます。
そして、良くなったり悪くなったり
を繰り返します。
比較的、若いうちに発症します。



症状が出やすい部位

- 完治は難しいといわれており、
生涯にわたりアトピーの体質と上手に付き合いながら症状をコントロール
することが何よりも重要です。

- 症状を悪化させる要因（皮膚感染症、乾燥肌やオイリー肌、食物など）を
探索し、取り除くことも重要です。

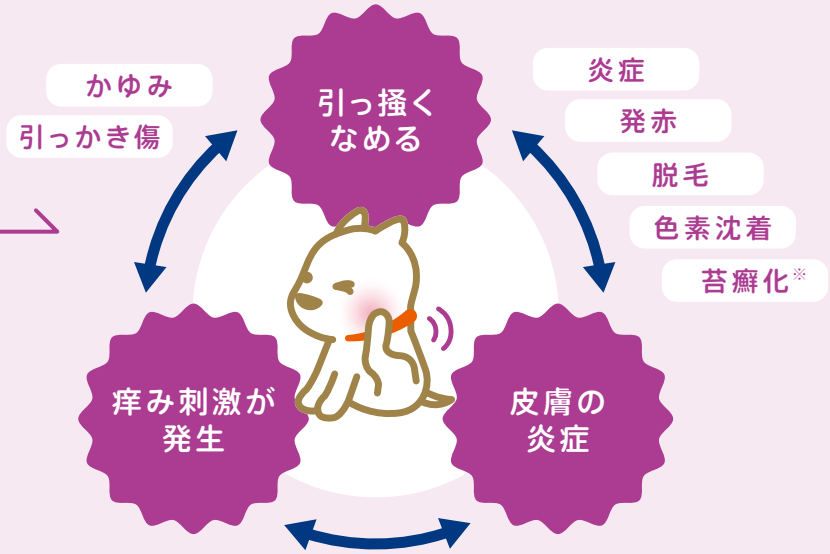
治療で大事な事は かゆみのコントロール

かゆみの原因：IL-31（インターロイキン）

犬アトピー性皮膚炎の犬は、かゆみを感じると、舐める、引っかく、噛む、擦るなどして患部を掻き壊し、皮膚が傷ついてしまいます。その刺激から再びかゆみや皮膚の炎症が起こり、また掻き壊す…これを繰り返すと**「かゆみサイクル」と呼ばれる悪循環となり**、かゆみや炎症がどんどん悪化してしまいます。この時、皮膚の内部では、**インターロイキン-31（IL-31）**という物質（サイトカイン※）が産生され、かゆみを誘発しています。

※ 細胞同士で情報を伝達するたんぱく質

かゆみサイクル



※ 苔癬化（たいせんか）：皮膚が厚くなり、かゆみが慢性化した状態

かゆみのコントロール

かゆみを持続的 に緩和して、
かゆみサイクル を断ち切ることがとても大事です。

ワンちゃんのかゆみについて、より詳しく知るには？　犬アトピー性皮膚炎 情報Webサイト　犬のかゆみ.com

本日、「サイトポイント®」を投与します

「サイトポイント®」は、IL-31というかゆみを引き起こす物質の働きを抑制し、犬アトピー性皮膚炎によるかゆみや症状を緩和する、犬用抗体医薬品です。
1回注射すると、効果は24時間以内に発現し、1ヵ月間持続します。

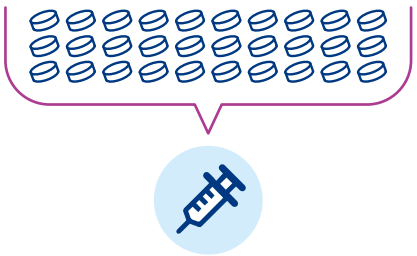
サイトポイント®の 3つの特長

1

1回の注射で 1ヵ月間の効果

かゆみを持続的に抑えることが必要です

- 持続的にかゆみを抑えることで、皮膚症状の回復と、ワンちゃんの生活の質の向上が期待できます。
- 自宅でお薬を飲ませる必要がなく、月に1回の注射で、毎日を快適に過ごせます。



1ヵ月間、効果持続

2

かゆみの主な原因 “IL-31”を狙い撃ち

かゆみサイクルを断ち切ります

- ワンちゃんのかゆみの主な原因には、IL-31というサイトカイン（細胞間の情報伝達物質）が関係しています。
- サイトポイント®は、IL-31と結合してそのはたらきを阻害します。

かゆみの誘発を阻害

3

安心の 犬用抗体医薬品

副作用リスクが低く投薬制限がありません※

- サイトポイント®は、本来ワンちゃんに備わっている免疫システムを応用した、犬用抗体医薬品（たんぱく質）であり、化学合成された薬品ではありません。
- 投与後は体内で自然に分解され、腎臓や肝臓に負担をかけません。また、年齢・他のお薬との併用・犬アトピー性皮膚炎以外の病気を患っている場合の投薬に制限がありません。

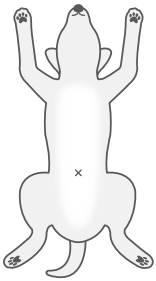
犬専用

※ 3.0kg未満の犬、交配予定および妊娠・授乳中の犬を除く。

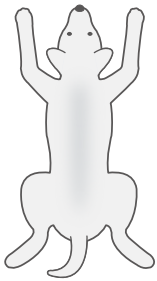
今日の　　ちゃんの状態の記録

皮膚の状態

お腹側



背中側



痒みの程度

痒み無し

睡眠中や食事中は痒がらない

睡眠中や食事中や運動時でも痒がる

0 – 1 – 2 – 3 – 4 – 5 – 6 – 7 – 8 – 9 – 10

たまに痒そう

起きているとき定期的に痒がる

ほとんどいつも痒がっている

投与の記録

投与日	痒みのスコア	投与日	痒みのスコア
月　日	点	月　日	点
月　日	点	月　日	点
月　日	点	月　日	点

犬アトピー性皮膚炎は、痒みや皮膚炎が治まっていても、
定期的に皮膚を検査し、悪化要因の探索と適切な治療を受けることが重要です。

次回

□月□日頃に

ご来院ください。

※ サイトポイント®投与後は、投与後の様子をよく観察し、普段と異なる症状が見られた場合は、獣医師にご相談ください。

ゾエティス・ジャパン株式会社　〒151-0053　東京都渋谷区代々木3-22-7

CA191113